

上 段 の 立

厳しい寒さの中

3学期がスタート



◆校長式辞より抜粋

今年は丑の年。子の年にまいた種が芽を出して成長する時期、結果につながる道をこつこつと歩む年と言われます。

今、まさに世界中の人々が、新型コロナウイルス感染症の収束という目標に向かって、じっと辛抱をしながら、一步一步歩んでいる最中と言えると思います。

新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾見茂会長が会見した中で、心に残った言葉がありました。それは、「緊急事態宣言そのものが、感染を下火にするのではない。人々が宣言を自分のこととして受け止めて行動することが大切なのだ」という言葉でした。

「自分のこととして受け止めて行動する」コロナの収束に向けてはもちろんのこと、学校生活の様々な場面で「自分のこととして受け止めて行動に移せる」ようになったら、きっと、私達の暮らしは、もっともっとよいものに、もっともっと思いやりあふれるものになっていくだろうと考えました。

合い言葉「かわさき」の「か」は賢くの「か」ですが、賢さの中には、「目の前の出来事を、自分には関係ないと思わず、自分には何ができるか」と考える賢さもあるのだろうと思いました。

3学期も、合い言葉「かわさき」を胸に、賢く、輪(和)を大切にして、最高を目指す、規律ある楽しい学校を目指しましょう。

◆生徒会長 滝澤芽依さん

始業式挨拶「3学期の抱負」より
三学期、川中生徒会としての抱負は二つあります。

一つ目は、卒業式を成功させることです。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、行事が中止になったり、規模を縮小せざるを得なくなったりしました。

そんな中でも、三年生は変わらず、私達一・二年生に明るく前向きな先輩としての姿を見せてくれました。卒業式では、お世話になった三年生に合唱などを通して感謝の気持ちを伝えられるようにしたいです。

二つ目は、来年度へ向けた準備をすることです。四月からは、三年生は高校生になり、新しいスタートを切ります。また、一年生は後輩を迎え先輩に。二年生は最高学年として全校を引っ張って行く立場になります。進級し、立場が変わることを自覚し、それに向けて学校生活を有意義なものにしていきましょう。

これらの抱負を実現させるために、生徒会執行部では、合唱練習などに取り組んでいきたいと思っています。

最後に、三学期はとても短いです。この短い期間をより充実した時間にするために、一日一日を大切に過ごしていきましょう。



凍てつく寒さに耐えながら、校舎前の桜もじっと春を待っています。

「まなびフェスト」アンケートへの協力ありがとうございました。

令和2年度(2学期) 学校 評価のまとめ 営の重点	アンケート評価の結果			今年度の方向性
	肯定的評価の割合 (%)	数値平均 (4点満点)	評価	
(1) 「まなびフェスト」の徹底 ① よく学びとる生徒				
・「わかる授業」づくり(授業スタイルの徹底)(授業が分かる生徒80%)	生徒 89% 保護者 88%	生徒 3.2 保護者 3.3	○	・校内研究の推進 ・校外研修会への参加
・考えを伝える力の育成(積極的な発言)	生徒 53%	生徒 2.6	△	・校内研究の推進(考えを交流する活動の工夫)
・各種学習調査結果の分析と活用	職員 70%	職員 2.8	△	・各種調査結果を踏まえた授業改善
・読書の推進と記録(書くこと)による自己との対話(月1冊以上読破)	生徒 62% 保護者 86%	生徒 2.9 保護者 3.2	○	・朝読書の充実 ・読書通帳の活用
② よく思いやる生徒				
・良さも違いも認め合う、温かい人間関係づくり(明るい挨拶・温かい言葉)	生徒 91% 保護者 84%	生徒 3.4 保護者 3.1	○	・道徳教育の充実 ・家庭への働きかけ強化
・いじめのない、思いやりと規律ある学校づくり(いじめゼロ 早期発見)	生徒 98% 保護者 73%	生徒 3.8 保護者 2.8	○	・生徒への共通理解 ・早期発見と適切な指導
・体験の充実(キャリア体験・ボランティア体験) 行事への積極的な参加	生徒行事 96% ボラ 89% 保護者 96%	生徒 3.7 3.4 保護者 3.6	◎	・体験活動の計画的な実施 ・活動の見える化と掲示
③ よく鍛えみがく生徒				
・家庭学習の工夫(学習習慣の確立)(1日80分以上)	生徒家庭 57% スコラ 72% 保護者 84%	生徒 2.6 2.9 保護者 3.2	△	・手帳を活用した家庭学習への意欲づけ
・規則正しい生活習慣の確立(早寝・早起き・朝ごはん)(メディア利用)	生徒 生 87% メディア 87% 保護者 生 76% メディア 69%	生徒 3.4 3.4 保護者 3.0 2.8	○	・家庭との連携 ・メディアの使い方についてのルールづくり
・主体的に進路選択し決定する力	生徒 81%	生徒 3.2	○	・キャリア・パ ^o スポーツの活用
・災害についての知識をもち、安全に生活できる力	生徒 94%	生徒 3.5	◎	・防災学習の計画的実施
(2) 家庭・地域との連携・協働				
・情報の発信と共有	職員 100% 保護者 84%	職員 3.5 保護者 3.1	○	・生徒の姿を伝える学級通信の発行を増やす。
・学校評価の分析のもと、課題解決に向けての協働(ノーマディアの取り組み)	生徒 100% 保護者 76%	生徒 4.0 保護者 3.2	○	・家庭と連携したノーマディアデー取り組み。
・地域を知り、地域で学ぶ活動の推進(子ども会育成会、ボランティア活動)	職員 100% 保護者 94%	職員 3.7 保護者 3.4	○	・地域学習と地域の人材活用 ・保、小、図書館、市民センター等との連携
(3) 働き方改革の推進				
・業務内容の見直し(重点化と精選) ・時間の有効活用・整理整頓	職員 91%	職員 3.2	○	・引き続き業務内容の見直しを図る

今年度も、家庭・地域の皆様のご協力をいただきながら教育活動を推進できました。改めて感謝申し上げます。学校評価のアンケートを受けて、現在、来年度の方針や計画を検討しております。

- ・子どもの考えを十分に引き出す授業作り
- ・家庭学習の方法についてのきめ細やかな指導

- ・子ども個々の学習状況、理解の状況の把握
- ・生活上の課題、子どもの悩みの把握と適切な対応

- ・読書活動の充実
- など、重点的に取り組んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

